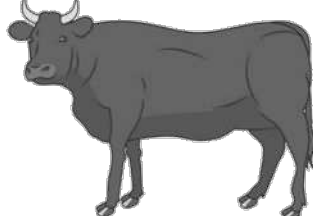
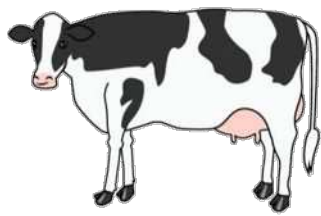


家畜衛生だより

令和7年5月発行 No.11
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

暑熱対策について（牛編）

乳牛 25℃以上 肉用牛 30℃以上



**繁殖成績
生産性
低下の原因に**

気象庁の直近3か予報（6～8月）では、今年も平均気温は高い見込みとなっています。

暑熱対策は、畜舎環境と飼養管理の両面からの対策が効果的です。夏場対策の重要性を今一度考え、夏がくる前から早めに実行しましょう！

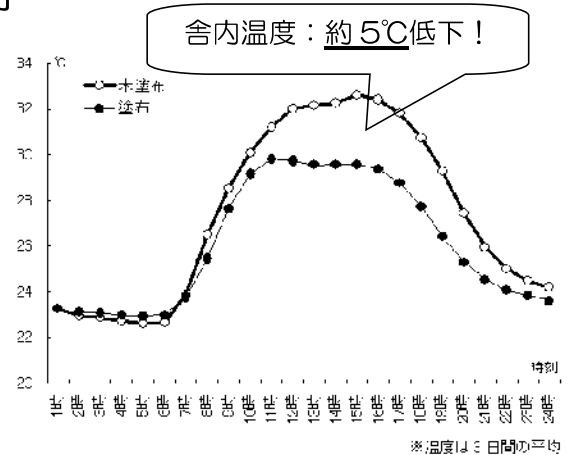
《畜舎環境面からの対策》

○ 遮光、遮熱

- ・ 日陰を作る（グリーンカーテン、遮光ネット、ひさし）
- ・ 屋根・飼料タンク等への遮熱塗料やドロマイト石灰等の塗布
- ・ 牛舎周囲への消毒を兼ねた消石灰散布



グリーンカーテンの一例



○ 換気、送風

- ・ 窓の開放、換気扇や送風機の利用
- ・ 畜舎周辺の除草

○ 冷却

- ・ 屋根や周囲地面への散水
- ・ 畜舎内では細霧発生装置の利用、牛体への散水

ドロマイト石灰塗布による屋根裏温度の推移
県農業総合研究センター養豚研究所 研究報告より

《飼養管理面の対策》

- ・ 常に新鮮な水を自由に飲めるようにする (ウォーターカップの点検・清掃)
- ・ 密飼いをしない
- ・ 涼しい時間帯(早朝・夜間など)に飼料給与し、給与回数を増やす
- ・ 鉱塩又は塩分・重曹の給与、抗酸化作用のあるビタミン、ミネラルの補給
- ・ 飼料の品質劣化に注意し、飼槽をきれいにする(残渣の除去)
- ・ 毛刈りをする

《特にリスクが高い牛について》

高泌乳、分娩前後、肥満、基礎疾患(乳房炎、肺炎、腸炎)等がある個体は、重篤な熱射病を起こしやすくなります。涼しい場所へ移動させましょう。

《以下の症状が認められた場合はすぐに対応を！》

- ・ 飼料の食込み量低下(残飼の増加)
- ・ 目の充血、ひどいよだれ、呼吸が荒い



- ・ 四肢から胸へと徐々に水をかける
- ・ 送風で体を冷やす
- ・ かかりつけの獣医師の診察を受ける



暑熱ストレスの影響は秋以降の生産性低下にもつながります。
早めに対策を実施し、生産性の低下を最小限に抑えましょう！

**暑熱対策のご相談やドロマイト石灰塗布用動力噴霧機
についてのお問い合わせは、庄内家畜保健衛生所まで**

電話番号 0235-68-2151